

岡本 誠司 Seiji Okamoto (Violin)

第19回J.S.バッハ国際コンクール（ドイツ・ライプツィヒ）のヴァイオリン部門にてアジア人で初めて優勝、併せて聴衆賞を受賞。2016年、第15回ヴィエニャフスキ国際コンクール（ポーランド・ポズナン）第2位。エリザベート王妃国際コンクール（ベルギー）にてファイナリスト入賞、2021年にはARD ミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞など受賞歴多数の実力派。現在はクロンベルク・アカデミーに在籍し、ベルリンにて研鑽を積みながら、日本およびヨーロッパでソロはもちろん室内楽など精力的な演奏活動を行っている。これまでに読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、サンクトペテルブルク交響楽団等国内外のオーケストラとの共演を重ねている。東京藝術大学を卒業後、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学の修士課程修了。

大江 馨 Kaoru Oe (Violin)

2019年レオポルトモーツァルト国際ヴァイオリンコンクール第3位ならびに委嘱作品賞受賞、2019年アントン・ルービンシュタイン国際コンクール第2位、2013年日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞他全賞受賞等国内外にて数々の受賞。桐朋学園大学ソリストディプロマコースに特待生として入学。同時に慶應義塾大学法学部にて学び、卒業後、ドイツ・クロンベルクアカデミーを修了。

これまでに尾高忠明、山下一史、山田和樹、川瀬賢太郎各氏等の指揮でNHK交響楽団、ミュンヘン放送管弦楽団、東京フィル、神奈川フィル、新日本フィル、東京交響楽団など数多くのオーケストラと共演を重ねる。渋谷由美子、堀正文、漆原啓子、堀米ゆず子、クリスチャン・テツラフの各氏に師事。2020年2月にはデビューCD「ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲」（オクタヴィア）をリリース。

使用楽器は、株式会社文京楽器よりG.Cappaを貸与されている

桐原 宗生 Souki Kirihara (Violin)

鹿児島県出身。3歳よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）を経て桐朋学園大学音楽学部にて学ぶ。在学中、N響アカデミー、小澤国際室内楽アカデミー、PMF、サントリー室内楽アカデミー、プロジェクトQ等に参加し、アンサンブルの研鑽を積む。2015年9月から2019年3月まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の第2ヴァイオリン首席奏者を務める傍ら、全国のオーケストラに首席奏者およびコンサートマスターとして客演。2019年5月より札幌交響楽団の第2ヴァイオリン首席奏者に就任。第63回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第2位。これまでにヴァイオリンを中島三幾、堀正文、久保良治、各氏に師事

島方 瞭 Ryo Shimakata (Violin)

北海道札幌市生まれ。これまでにヴァイオリンを佐藤郁子、富岡雅美、藤原浜雄、マルクス・ヴォルフ各氏に師事。第 69 回全日本学生音楽コンクール・高校の部全国大会第 2 位及びサントリー芸術財団名器特別賞、第 39 回霧島国際音楽賞を受賞。19 歳で円光寺雅彦氏指揮・札幌交響楽団と共演。

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)ヴァイオリン科を首席で卒業後、同大学ソリスト・ディプロマコース修了。2018 年に渡独し、現在年ドイツ・ミュンヘン州立音楽演劇大学在学中。2021 年度ヤマハ音楽振興会奨学生。2021 年 10 月よりミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団・アカデミー生。

東 亮汰 Ryota Higashi (Violin)

第 88 回日本音楽コンクール第 1 位、併せてレウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞をはじめ受賞多数。NHK-FM「リサイタル・パッショ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演。これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団などと共演。これまでに森川ちひろ氏に師事。特待生として桐朋学園大学音楽学部で学び、首席で卒業。2019 年から 2 年間、一般財団法人 ITOH より 1716 年製 A. Stradivarius を貸与される。特待生として桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程 1 年在学中。辰巳明子氏に師事。サントリーホール室内楽アカデミー第 6 期フェロー。ローム ミュージック ファンデーション 2021、2022 年度奨学生。使用楽器は宗次コレクションより貸与された M. Capicchioni 1956 年製“Felix Ayo”。

宇野 由樹子 Yukiko Uno (Violin)

1995 年生まれ、岐阜県岐阜市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。東京藝術大学に平成 26 年度宗次徳二特待奨学金奨学生として首席で入学。宗次徳二海外留学支援奨学金第 1 期生として 2015 年より渡欧し、オーストリアのザルツブルク・モーツァルテウム芸術大学を最高点を得て卒業。

2019 年エリザベート王妃国際コンクール入賞(ファイナリスト)、アンドレア・ポスタッキーニ国際コンクール 2 年連続第 1 位、中国光亜成都国際ヴァイオリンコンクール 2016 第 1 位、オレグクリサ国際コンクール特別賞受賞、チェコ音楽コンクール第 1 位、岐阜国際音楽祭第 1 位等国内外の数々のコンクールにおいて優勝、入賞歴多数。また 2020 年にザルツブルク・モーツァルテウム芸術大学にて年に一人、卓越した才能と芸術への献身を称えるポールロチェック賞を受賞する。

これまでに、大植英次、和田一樹、ジャン・ジャック・カントロフ、ヒュー・ウルフ、ヨハネス・カリツケ、らの指揮の下、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋室内管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、ワロニー王立室内管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム大学交響楽団、リヴィヴ交響楽団、聖ゲレートアカデミー管弦楽団、マルキジャーナフィルハーモニー管弦楽団等と共演。

モーツァルト習慣音楽祭(オーストリア)、パルス音楽祭(エストニア)、聖ゲレート国際音楽祭(ハンガリー)、Classy Sundays 室内楽フェスティバル(ベルギー)等出演。マキシム・ヴェンゲーロフ、イムレ・ローマン各氏と共演するなど室内楽にも精力的に取り組んでいる。メディアには NHK-FM「リサイタル・パッショ」に出演。

ヴァディム・レーピン、M.ヴェンゲーロフ、L.カヴァコス、ヴィクトル・トレチャコフ、ミハエラ・マルティン、五嶋みどり、サバディ・ヴィルモシュ各氏らによる指導のもと薫陶を受ける。

これまでに進藤真弓、玉井菜採、澤和樹、三上亮、進藤義武、ヘルヴィック・ツアック、ピエール・アモイヤル各氏に、現在はスイス・バーゼル音楽院ソリスト特別修士課程に在籍し、ライナー・シュミット氏に師事。2021,2022年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。

有田 朋央 Tomohiro Arita (Viola)

東京藝大卒業、現在ベルリン・ハンスアイスラー音大の修士課程に在籍、ベルリン放送交響楽団の研修生。ドイツ・カンマーフィルにて2017-2019年は研修生としてヨーロッパ、アジア各国でのツアー公演にも出演。

長田 健志 Kenshi Nagata (Viola)

兵庫県出身。4歳よりヴァイオリンを始め高校一年生よりヴィオラに転向する、東京藝術大学卒業。

2018年第4回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第3位入賞。ハイドン賞も受賞する。

第45回藝大定期室内楽演奏会に出演する。2019年第8回秋吉台音楽コンクール、室内楽部門にて一位入賞する。プロオーケストラやアンサンブルなどを中心に精力的に活動する。

2017年より、スーパーストリングスコーベに在籍。これまでに、ヴァイオリンを芦原充、室内楽を山田百子、中木健二、玉井菜採、各氏に師事。ヴィオラを大槻桃子、大野かおる、市坪俊彦、各氏に師事。

森田 啓介 Keisuke Morita (Cello)

2014年、高校2年時に第68回全日本学生音楽コンクール第1位、日本放送協会賞および第83回日本音楽コンクール第1位、徳永賞、黒柳賞、岩谷賞を受賞し、史上初めて同年2冠を達成する。2017年、パブロ・カザルス音楽祭アカデミー・コンペティション第1位、第14回ルーマニア国際音楽コンクール・グランプリおよび聴衆賞。また、品のよい透明感ある音色と豊かな抒情性を高評され第27回青山音楽賞新人賞を、弦楽器初となる第45回日本ショパン協会賞を受賞している。

東京フィルハーモニー交響楽団、ハンガリー・サヴァリア交響楽団、バルセロナ・バロック・オーケストラ、ベルリン室内管弦楽団等と国内外で共演を重ねる。リサイタル・ノヴァ(NHK-FM)、N響メンバーと新進演奏家の出会い、宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどに出演。MLMダブルカルテット設立時からのJNO(ジャパン・ナショナル・オーケストラ)メンバー。

桐朋女子高等学校音楽科に特待生として入学し、桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コースを首席で卒業。佐藤明、倉田澄子、常光聡、宮田大の各氏に師事。ドイツ・ザール音楽大学を経て、現在は同大学院にてグスタフ・リヴィニウス氏に師事。ドイツ・ザールブリュッケン在住

関西ゆかりの楽師の家系で、箏奏者の東儀俊慰を高祖父に持つ。

水野 優也 Yuya Mizuno (Cello)

1998 年生まれ、東京都出身。第 89 回日本音楽コンクールチェロ部門第 1 位及び岩谷賞（聴衆賞）、黒柳賞、徳永賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。第 13 回東京音楽コンクール弦楽部門第 1 位及び聴衆賞。第 23 回コンセールマロニエ 21 弦楽器部門第 1 位。ソリストとして東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、大阪交響楽団などと共演。

国内各地でのソロリサイタルをはじめ、PMF2017、武生国際音楽祭、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭、宮田大「大ism」、藤沢にゆかりのある音楽家たち、長谷川陽子・向山佳絵子プロデュース「チェロ・コレクション」、チェロ・リパブリカ、Music Dialogue、反田恭平 with MLM ナショナル管弦楽団、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演。ドイツ・ドレスデン音楽祭ではスカラシップを得てターヴィッド・ゲリンガス、フランス・ヘルメルソンの各氏に学ぶ。草津夏期国際音楽アカデミーでは遠山基金奨学生としてタマーシュ・ヴァルガ氏のマスタークラスを受講、西村朗音楽監督賞受賞。公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション奨学生。これまでにチェロを河地正美、常光聡、倉田澄子の各氏に師事。特待生として桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。現在、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学にてミクローシュ・ペレーニ氏のもとで研鑽を積んでいる。シャネル・ピグマリオン・デイズ 2020/2021 参加アーティスト。

香月 麗 Urara Katsuki (Cello)

愛知県出身。桐朋女子高等学校を経て桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを修了。第 86 回日本音楽コンクール 1 位、あわせて徳永賞、E.ナカミチ賞を受賞。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、プロジェクト Q に参加。現在はローム ミュージック ファンデーション奨学生としてローザンヌ高等音楽院大学院にて研鑽を積む。チェロを故久保田顕氏、倉田澄子氏、グザヴィエ・フィリップ氏に師事。

大槻 健 Ken Otsuki (Contrabass)

奈良県出身。第二回 Japan International Contrabass Festival Solo Competition 1 位。これまでに東京フィル、東響、新日本フィル、札幌の客演首席奏者を務める。現在、読売日本交響楽団首席コントラバス奏者。

八木 瑛子 Eiko Yagi (Flute)

東京藝術大学音楽学部を首席で卒業。第 25 回日本木管コンクール第 1 位、保科賞受賞。第 32 回日本管打楽器コンクール第 3 位。第 85 回日本音楽コンクール第 2 位。現在ザルツブルク・モーツアルテウム大学に在学。ミヒャエル・マルティン・コフラー氏に師事。ユング・ドイチェ・フィルハーモニー管弦楽団団員。

荒木 奏美 Kanami Araki (Oboe)

東京藝術大学在学中の2015年(21歳)より、東京交響楽団の首席オーボエ奏者。国内の数々のコンクールで入賞を重ね、第11回国際オーボエコンクール・軽井沢では日本そしてアジア勢で史上初となる第1位(大賀賞)、併せて聴衆賞を受賞した。第27回出光音楽賞受賞。

新進気鋭のアンサンブル集団”Ensemble FOVE”コアメンバー。

ソリストとしては東響、都響などと協演。東京・春・音楽祭でデビューリサイタルを行い、その後B→Cや各音楽祭への参加、新作の初演など現代音楽の公演、映画ドラマ等の劇伴レコーディングなど各地で幅広く取り組んでいる。

オーボエの巨匠との共演も多く、ハイツ・ホリガーに認められオーボエトリオで日本ツアー公演に出演する他、モーリス・ブルグ、シェレンベルガー両氏と共演。

メディア「題名のない音楽会」「エンター・ザ・ミュージック」等出演。

茨城県出身、9歳の時に吹奏楽でオーボエをはじめた。東海村を愛する研究所研究員(PR大使)もつとめる。東京藝術大学を首席卒業、その後同院修士課程修了。

浅原 由香 Yuka Asahara (Oboe)

東京藝術大学大学院修了。第12回国際オーボエコンクール・東京で最高位を受賞。東京フィルハーモニー交響楽団での契約首席奏者を経て、現在札幌交響楽団団員。活動の場はオーケストラに留まらずソロや室内楽にも積極的に取り組んでいる。

庄司 雄大 Yudai Shoji (Horn)

第3回日本ホルンコンクール第2位。第86回日本音楽コンクールホルン部門第2位。第35回日本管打楽器コンクールホルン部門第1位、および文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。現在、藝大フィルハーモニア管弦楽団首席ホルン奏者。

鈴木 優 Yu Suzuki (Horn)

群馬県出身。東京藝術大学卒業。

2014年ヤマハ新人演奏会に出演。Menagerie Brass Quintetとして第10回チェジュ国際金管楽器コンクール金管五重奏部門第1位を受賞。

ホルンを高橋臣宜、守山光三、日高剛、西條貴人、伴野涼介、五十畑勉の各氏に師事。

Menagerie Brass Quintet、Cor Ensemble VENUS、ALEXANDER HORN ENSEMBLE JAPAN、The Horn Square、つの笛集団メンバー。

山野楽器ウィンドクルー音楽教室ホルン講師。

東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師(芸大フィルハーモニアホルン奏者)、東京交響楽団を経て現在、東京都交響楽団団員。

皆神 陽太 Yota Minakami (Fagotto)

1993年茨城県ひたちなか市に生まれる。12歳よりファゴットをはじめ、岡崎耕治氏・吉田将氏に師事。東京藝術大学音楽学部卒業時に東京藝術大学同声会賞を受賞。第33回日本管打楽器コンクールファゴット部門入選。第13回東京音楽コンクール木管部門入選。本選会にてA.Jolivet作曲のコンチェルトを新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席ファゴット奏者および、ピアニスト反田恭平率いる Japan National Orchestra コアメンバーとして活動する傍ら、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団をはじめとする国内各地のオーケストラや宮崎国際音楽祭等の祝祭管弦楽団にも首席奏者として客演。

2020年度より洗足学園音楽大学にて非常勤講師を務める。Rainbow town FM 毎週水曜 22:30～「らじおけ。」メインパーソナリティ。

古谷 拳一 Kenichi Furuya (Fagotto)

東京藝術大学卒業後、スイス文化庁奨学生としてスイスチューリッヒ芸術大学院に留学。ユンゲドイチェフィルハーモニーファゴット奏者。2019年3月よりベルリン・フィルハーモニー管弦楽団「カラヤンアカデミー」に在籍、現在ベルリン在住。スイス Muri 国際コンクールファゴット部門優勝、第33回日本管打楽器コンクールファゴット部門3位、第27回市川新人コンクール管打楽器部門1位、第73回プラハの春国際音楽コンクールファゴット部門2位入賞。